

(書面、不在者投票をお忘れなく！ 不在者投票開始2月5日～)

Change!
日弁連

弁護士の生活を守る！

会長は **及川智志**



～無謀な増員にNo!～

合格者数1000人以下!

司法試験合格者年間1500人ということは、毎年弁護士が1000人ずつ増えるということであり、これは北海道弁連または東北弁連の会員数に匹敵します。

これでは弁護士の所得は低下し、人権擁護活動をするための余裕が失われてしまいます。

弁護士業務の安売りに**NO!**

法テラス問題



- ・法テラス報酬基準は**ダンピング**
- ・**旧報酬規程基準**まで上げるべき(+依頼者の償還は減免)
- ・もはや業務量調査ではなく**日弁連挙げての運動を**
- ・法務省、財務省に対して市民とともに日弁連が働きかけるべき

本人サポート問題

◆本人サポート問題とは ▶

民事訴訟IT化において本人は従来通り紙での提出・受取が可能となった。しかし日弁連は本人訴訟でオンライン対応をするための「本人サポート」実施を維持(2019年基本方針、2022年会長声明)。



浏上候補

- ・ オンラインでの本人訴訟を希望する**市民のためのサポート**が必要
- ・ ミスは弁護士賠償保険で対応検討
- ・ 費用は低廉と予想

弁護士の本来業務のたたき売りであり反対

- ・ 本人は今まで通り紙で裁判が可能
- ・ ITミスが生じたときに、本人にも弁護士にもリスク
- ・ 「本人サポート」のうち「実質サポート」は弁護士の本来業務



及川候補



及川候補の政策